



# みてたんせ

〒019-0529 十文字町字海道下6-1 (B&G海洋センター内)

☎ 23-6777・FAX 42-0481



## 七月(文月)に成りました

三重地区交流センター

センター長 高橋 信雄

三重地区の皆さん、お変わりありませんでしょうか。

早いもので令和6年も半年が過ぎ、この間、植えた田んぼの苗も青々と生い茂り活力が漲る月でもありますね。しかし、今年は例年にない雪不足から田んぼに引く水が不足し、まだ代掻きさえできていない所もあるそうです。雪が少ないのも考えものです。

さて、七月は七夕(たなばた)がありますが、なぜ「七夕」と書くようになったのでしょうか。実は、元々は「棚機」と書いていたそうで、かつて乙女が棚機で織った着物を棚に供え、神をもてなすことで豊作を願ったり、穢れを祓う行事を行っていたようです。この行事は、お盆を迎える準備として七月七日の夜に行われたことから「七夕」と呼ばれるようになり、この神事と織り姫・彦星の伝説と中国から伝来した乞巧奠(きこうでん)が元になったと言われています。

私の柳原集落では「子ども七夕」を長く継承していました。元々は男子だけの祭りで、中学三年生が全て企画し取り仕切っていました。八月六日の午前8時に神社に集合し、代表の家の前に七夕飾りを竹に飾り夕方を待ちます。その間に、買い出したお菓子の袋詰めや、宿の家では持ち込まれたナスでナス汁を振る舞い食べ物を一重持参し、歌やクイズで夜遅くまで七夕祭りを楽しんで翌日午前5時頃に近くの皆瀬川に七夕流しをしたものでしたが、時代と共に少子化が進み子どもの数が激減し、男女合わせても数人足らずのため、今では集会場で楽しみ会をする程度になりました。

※乞巧奠(きこうでん)とは...女子の手芸や裁縫の上達を祈ったもの。



## 花を植えました！

旧十文字第二小学校の花壇とプランターに職員が花を植えました。まだ小さい苗ですが、10月の開所の頃には、地域の皆さんと一緒に楽しめたら嬉しいです。



## 健康ウォーキングを開催しました 6/1(土)

★三重地区交流センター運営協議会健康福祉部事業の健康ウォーキングを、十文字陸上競技場の駐車場を起点として、早朝のさわやかな時間帯に開催しました。  
当日はウォーキングルートのクリーンナップにも御協力いただき、皆さんそれぞれが無理のないペースで、楽しく会話しながら健康づくりができたようです。  
次回開催の折には、皆さんも参加してみませんか？



元気な笑顔で  
記念写真を撮りました！



★夏本番が近づいてきましたね。7月と言えば栄養たっぷり土用のうなぎ！  
体力保持のため、バランスの取れた食事や小まめな給水、適度な塩分補給  
そして運動や休養も大事ですね。冷房等で暑さ対策にも日々心がけながら  
この夏を乗り切りたいものです。（事務担当）

